

跡見学園女子大学 学報



跡見 跡見学園女子大学では、11月2日(土)、11月3日(日)の両日にわたり恒例の「紫祭」が新座キャンパスにおいて実施されました。天候にも恵まれ、後夜祭においては近隣にも好評の大輪の打ち上げ花火まで無事行う事ができ、学生達も花火の迫力、美しさだけでなく、この紫祭に向けた努力と今後の自らの新たな決意に熱いものを感じていた様子がうかがわれました。

地域連携の推進と共に、学生の活躍の場を広げ、又、学修環境の一層の充実により「実践力を備えた教養人・品性ある社会人・自律し自立した女性」を目指した、学内外での動向をご紹介します。

記事内容

- 森鷗外記念館開館1周年記念事業 朗読コンテスト ○文京博覧会(ぶんぱく)2013 (2)
- 文京区コミュニティバス「B-ぐる」まつり2013 IN 跡見
- 跡見ギャラリー報告 ○文京アカデミア講座 ○川口B級グルメフェスティバル2013 ○子ども大学にいざ (3)
- GSR学生アイデア・コンテスト ○現代文化表現学科報『Visions』第4号刊行 ○ゼミ紹介 (4)
- 学生会情報 ○第46回 紫祭報告 ○CLUB NOW (5)
- 平成25年度 各種研究助成報告 (6)
- 平成25年度 学内講演会 開催報告 (7)
- 全学共通科目運営センター主催第一回FD講演会報告 ○平成25年度心理教育相談所関連事業 (8)
- 世界遺産検定団体優秀賞 受賞!
- 海外研修プログラムの拡充について ○保護者説明会・後援会大学幹事会の報告 (9)
- ザ!就職 ～平成25年度就職懇談会の総括と今年度就職活動の行方 (10)
- ATOMI就活サポーターズ ～OGからのメッセージ～
- 新学部「観光コミュニティ学部」設置構想 ○第5回新収資料展 (11)
- 日本女子大との図書館相互利用協定締結
- 春の行事予定 ○履修申請 ○新年度オリエンテーション予定 ○花蹊記念資料館だより (12)
- 桜まつり・オープンキャンパスのご案内 ○編集後記

●文京キャンパス発

森鷗外記念館開館1周年記念事業 朗読コンテスト

主催：文京区 共催：跡見学園女子大学(協力：NHK放送研修センター日本語センター)

本年は森鷗外記念館(文京区本郷)開館1周年の記念の年であり、その記念事業として昨年に引き続き、文京区主催の「朗読コンテスト」が本学において開催されました。

参加者を全国公募したところ、昨年の143名を大きく上回る234名の応募がありました。NHK放送研修センター日本語センターの録音審査により、青少年の部5名、一般の部10名が本選に出場しました。本学からもコミュニケーション文化学科の1年生、卒業生が本選出場者に選ばれました。幅広い年齢の出場者が、「山椒大夫」や「高瀬舟」など鷗外の作品を朗読しました。発音の際の息遣いや声の張り方、読む速さなど、同じ作品でも読み手によって大きな違いがあることが朗読の面白さだと思います。朗読終了後には、本学園卒業生で結成された「紫音会アンサンブル」によるマンドリンの演奏が行われました。

審査委員長の広瀬修子氏(元跡見学園女子大学教授、元NHKアナウンサー)を中心に、審査員の伊藤文樹氏(NHK放送研修センター日本語センターチーフアナウンサー)、特別審査員である森美奈子氏(エッセイスト、鷗外會孫)、前

田元氏(文京区教育指導課統括指導主事(国語専門))による厳正な審査の結果、青少年の部・一般の部からそれぞれ1名の最優秀賞、その他両部門合わせて優秀賞4名、特別賞2名が選ばれました。

また同時に、本学跡見ギャラリーにおいて、「跡見卒の鷗外夫人と鷗外宛年賀状で見る～森鷗外展」が開催され、多くの来場者で賑わいました。

昨年に続き2回目となった今回は、多くの応募者と観覧者にご参加いただき、本コンテストがより存在感のあるものになったように感じます。本コンテストを通して、鷗外作品の魅力、朗読の魅力について多くの方に知っていただけではいけないでしょうか。



文京博覧会(ぶんぱく)2013

マネジメント学部マネジメント学科2年



マネジメント学部山下ゼミ2年は、文京区内のグルメスポット、歴史的建物などをレンタサイクルでめぐり、パネルやパワーポイントにまとめ、展示しました。観光スポットめぐりや近くにお住まいの方との交流は文京区と日本の歴史を知るうえでとてもためになりました。当日も、地域の企業の方などから直接アドバイスをいただいたりと、ぶんぱく以外にも今後何かをPRするという面で勉強になることばかりでした。今回は3年から本格的に取り組む予定である文京区活性化プロジェクトの導入として参加しましたが、学んだことや教えていただいたことを活かしてこれからの活動に取り組んでいきたいと思えます。

文京区コミュニティバス「B-ぐる」まつり2013 IN 跡見

マネジメント学部マネジメント学科3年

マネジメント学部芝原ゼミは『文京区コミュニティバス「B-ぐる」まつり2013 in 跡見』(後援:文京区)を2013年12月12日(木)から3日間、「跡見ギャラリー」にて開催致しました。ゼミでは、マネジメント力の習得と地元貢献を目的に、地域活性化活動に取り組んでおります。今回は、パネル展示、映像などから「文京の魅力」を紹介し、300人を超える、



地域の方々と子供達との交流を深めることが出来ました。“文京をぐるっとまわる”「B-ぐるバス」活動では、我々が企画・取材・出演・撮影・編集・制作した、車内放映中の映像を紹介。今年は銭湯、神社、図書館から跡見生が見た文京を伝えました。又、「大塚警察」と「北野神社宮司」のミニ講演会や「文人銘菓」



「文京検定」「ユニセフ貿易ゲーム」や、セロったら販売会等、皆さんに楽しんで頂きました。(販売収益は「ユニセフ」に寄附させて頂きました。)

跡見ギャラリー報告

跡見ギャラリーは、文京区との連携による文化活動の拠点として、平成25年4月30日に開設し、文京区民と教員・学生との交流の場として、地域の方々の生活をより豊かにすることを目的としております。

オープンからほぼ1年が経過し、その間、学祖跡見花蹊と跡見学園の歴史を紹介した常設展のほか、学園中高生徒作品の繊維工芸展、大学書道部による書道展、森鷗外展等々の企画展を開催して参りました。また、文京区高齢福祉課主催による認知症サポーター講習会を本学の学生も参加して開催しました。お陰さまで、11月末現在で延3700人超の地域の方々に来館いただいております。

12月には、ゼミ学生による『文京区コミュニティバス「Bぐる」まつり2013in跡見』を開催し、12月17日から翌年2月17日まで『跡見学園と百人一首の世界』展を開催します。跡見ギャラリーは、今後も地域とともに元気に活動してまいります。



●新座キャンパス発

川口B級グルメフェスティバル2013

マネジメント学部生活環境マネジメント学科4年

10月27日に『川口B級グルメフェスティバル2013』が開催されました。石渡ゼミ3年生は4年連続となるATOMI団子を出店し、完売することを、4年生は主催団体として



来場者楽しんでいただけるイベントを安全に運営することを目的に、4月から半年間活動してきました。スタンプラリーやゆるキャラとの撮影会など、どの年代の来場者も楽しめる工夫をしました。

3万3千人もの来場者があったこのイベントで、自分たちの企画を実現できた

ことが自信につながりました。貴重な学びの機会を与えてくださった商店会、市役所をはじめ地域の方々に、心から感謝いたします。



文京アカデミア講座

本学では平成23年度より公益財団法人文京アカデミアが主催する文京アカデミア講座を開講してい



「再生紙を作ろう」講座の様子

ます。23年度は2講座、24年度は4講座、25年度は6講座と、年々開講講座数を増やし、文京区民との繋がりを深め、地域連携に努めています。

昨年度までは講義形式の講座が中心でしたが、平成25年度から実技形式の講座も開講しています。今後は跡見ギャラリーやさくらルームを会場とする講座も設けることにより、跡見ギャラリーを文京区民の皆様にご利用いただく機会となるよう企画を検討しています。

本講座の受講対象は文京区内在住・在勤・在学の方を原則としておりますが、定員に余裕のある講座は区外の方も受講可能です。学生の方の受講も大歓迎ですので、興味のある方は是非文京アカデミアホームページをご覧ください。

●文京アカデミアホームページ → <http://www.b-academy.jp/>

■平成25年度 文京アカデミア講座 講座一覧

開講期	講座名	講師
前期	与謝野晶子と源氏物語	神野藤昭夫名誉教授
前期	古文書を読む ～江戸の風刺錦絵・狂歌～	奈倉哲三文学部教授
前期Ⅱ	再生紙を作ろう	宮崎正浩マネジメント学部教授
後期	日本再生のマネジメント	山澤成康マネジメント学部教授 ほか
後期	人間理解を深める心理学	野島一彦文学部教授 ほか
後期Ⅱ	私も書ける“隷書に挑戦!”	横田恭三文学部教授

子ども大学にいざ

平成24年度に引き続き、本学は、埼玉県、新座市、大学やNPOと協力をしながら「子ども大学にいざ」を開校しました。この目的は、地域の子ども(小学校4～6年生)の知的好奇心を満足させる学びの機会を提供することです。昨年度以上に多くの子ども達が参加をし、非常に活気のある授業となりました。4回開催された授業のうち、本学は、第3回「新座市のCMを作ろう!」(平成25年11月9日、講師:マネジメント学部イシカワカズ教授)、と第4回「ファッション・デザイン画を描いてみよう!」(平成25年12月21日、講師:マネジメント学部内村理奈准教授)を担当しました。第3回では、イシカワカズ教授のCMに関する講義後、子ども達が新座市の良い所や自身の将来の夢を紙にまとめ、ビデオで撮影を行いました。第4回では、内村理奈准教授のファッションに関する講義後、子ども達が自分が大人になったら着てみたい服をデザインしました。第4回の授業後に行われた修了式では、本学の山田徹雄学長から子ども達に、修了証が手渡され、全員が無事子ども大学にいざを修了しました。



子ども大学にいざ修了式の様子

GSR学生アイデア・コンテスト

マネジメント学部生活環境マネジメント学科 教授 宮崎 正浩

生活環境マネジメント学科の宮崎ゼミの代表3名(3・4年生)は、9月28日に電通ホールにて開催された日本経済研究センター主催の第4回GSR学生アイデア・コンテストに参加しました。これは大学生が企業と共に「地球規模での社会的責任(GSR:Global Social Responsibility)」を考えるため、全国から選ばれた9大学のチームが、参加8企業の中から選んだ2社のリソースを組み合わせる新しい事業プランを提案するものです。

この中で宮崎ゼミは、「中国での食事と健康についての教育」と題し、中国で急増する小児肥満の対策としてベネッセ(教育)と第一三共(医薬品)が協働で行う新しい教育・医療ビジネスを提案しました。

リーダーとして参加した清水春花さん(4年生)は「発表当日には、満足のいくプレゼンテーションができました。(中略)最後まで頑張り抜く根性と、チームで協力しあうことや、お互いへの感謝の気持ちを忘れないことが何より重要だと感じました。」と語っていました。



現代文化表現学科報『Visions』第4号刊行

文学部現代文化表現学科 教授 富川 淳子

本学科の専門科目「ライティング特殊演習」を履修する3年生が授業の課題として制作する学科報『Visions』。その4号目が2014年1月に発刊された。今号のテーマは「演劇界のクリエイティブな仕事」。前号と同様、現代文化表現学科の学生たちの就職活動を意識した企画である。

第一線で活躍するプロたちと1冊を作り上げた16名の学生が書いた編集後記には今年も「予想以上に大変だった」という嘆きと驚きが並ぶ。思ったより何倍も手間のかかる作業、インタビュー時のこれまで体験したことのない緊張感など、学生にとって苦勞の連続だったであろう。それゆえこの文章には困難を乗り越えた自信や達成感ものぞく。

このように教育効果を実感できる『Visions』をさらに進化させることが私自身の課題である。『Visions』がキャリア教育だけでなく、大学における人間教育により貢献できる授業となるように2014年4月から再び取り組んでいく。



ゼミ紹介

横山ゼミ

文学部現代文化表現学科 准教授 横山 太郎

横山ゼミでは、パフォーマンス(演劇、ダンス等)を研究します。3年次にはまず、各ジャンルの歴史や、特定の演劇作品について発表します。夏休みには、劇場や劇団、演劇祭等のインターンに参加します。3年生の後半には、現場で働く人に取材をし、制作の舞台裏(文字通り!)を調査・発表します。また、各人の関心に応じて具体的な研究対象を絞り込んでいきます。4年次にはその対象について研究を深め、最終的に卒論に結実させます。

並行して、毎月1本は実際に観劇し、劇評を書きます。その月毎に互評会を開き、お互いの劇評を読み合っただけでなく、良い所や改善点を話し合います。仲間の書いた優れた劇評は刺激になるようで、当初は小劇場演劇に戸惑っていたような学生も、回を重ねるごとにどんどん文章が磨かれていって、私も驚くような鋭い分析をするようになります。

このように横山ゼミでは、舞台をたくさん観て、現場に出かけて、しっかり勉強します。学生たちが好きな舞台の勉強を通じて人間的にも成長できる場でありたいと思っています。

高橋ゼミ

マネジメント学部マネジメント学科 講師 高橋 聖子

高橋ゼミでは、企業に関する法律を学んでいます。2年生ゼミでは、時事問題を中心に「社会で問題になっていることの本質を捉え、その解決策を考える」ことを中心に進め、学年末には株式会社の仕組みを学びます。3・4年生ゼミでは、会社法と金融商品取引法を本格的に学び、判例研究等を行っています。発表を控えた学生は、本学図書館や国立国会図書館に通い、熱心に学んでいます。これらの理論的な研究と同時に、インテル株式会社との多様な共同プロジェクトも行っています。インテル社吉田社長によるグローバル人材についての講演会及び学生との交流会を開催し、その運営をゼミで行いました。また、一昨年度は、インテル社及びマイナビ社との共同プロジェクトとして、ゼミ生に最新のウルトラブックを貸与して頂き、常に携帯することによる学生生活の変化について、インテル社つくば本社にてプレゼンを行いました。昨年度は、インテル社と富士通株式会社の協力の下、学祭にて研究発表および最新のタブレット型PCの実演等を行いました。また、インテル社社員の方による動画作成講座やコーチング講座、様々な部署の社員の方との交流会などを通し、学生の実践力アップに繋がっています。

学生会情報

学生会本部

桜のつぼみも色づき始め、開花を待ち焦がれる今日この頃、皆様いかがお過ごしでしょうか。私たち学生会本部からはご報告が2つあります。

1つ目は学生会選挙の結果です。学生会会長に浅子如奈(マネジメント学科1年)、副会長に堀田華加(臨床心理学科3年)と大手さくら(人文学科1年)がそれぞれ選出されました。一同先輩方の教えを受け継ぎつつ、さらにパワーアップした学生会を作り上げるよう頑張りますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

2つ目はクラブリーダー交流会についてです。今年は、さらなる飛躍を遂げたいとの思いから障子学生課長代理に講師をお願いして12月15日と2月12日の2回行いました。第1回は、昨年大変好評だった『キャリアアトランプ』を使った自己理解を基にリーダーとして必要なコミュニケーション能力について考えたり、各部が抱える問題点についての意見交換、その解決方法を話し合いました。第2回では、4月に向けて新入生の勧誘方法について活発な意見交換を行いました。ここで出た『全クラブ一丸となって積極的に新入生獲得に動くためにクラブ紹介用パワーポイントを作成しそれを学食で流したい』『学生会主催でクラブ紹介DAYを

実施したい』などの意見を実現するために、これから大学と話し合いをしようと思っています。

最後になりましたが、学生会は、学生の皆さんと共により良い大学生活を送ることができるよう、精一杯邁進してまいりますのでご支援の程よろしくお願いたします。



第46回 紫祭報告

ごきげんよう。第46回紫祭実行委員会委員長の石島愛です。今年の紫祭は過去最多の参加団体が日頃の研究成果の発表、作品展示、演劇・音楽・ダンスの発表に模擬店と「colorful」というテーマそのものの2日間を作り上げました。そして、後夜祭では恒例の花火を打ち上げ、ご来校いただいた皆様にも「colorful」を感じていただけたのではとっております。

第46回紫祭が無事終了できましたのも、学長先生を始め、教職員の方々、地域の方々、団体の方々、紫祭に足を運んで下さった皆様のおかげです。この場をお借りして皆様に御礼申し上げます。今年度の反省を生かし、「第47回紫祭」をより良いものにしていくため、実行委員一丸となって励んでまいりますので、今後ともご支援、ご協力を宜しく申し上げます。



CLUB Now

演劇部

皆さんこんにちは、劇団H(アッシュ)です!私たちは、校内を中心に年3回ほど行う公演に向けて日々練習をしています。私たち劇団Hの特長は、「自分達の力で舞台を作り上げていく。」ということです。毎年多くのお客様に観に来ていただいている紫祭公演では脚本を始め、舞台の土台作りや客席作り、照明の設置など全て自分達の力で一から手作りの舞台を作り上げています。教室だって小さな劇場にしてしまいます!苦しいことや辛いことも活動をしているなかで出てきますが、そんな気持ちも公演が成功した時の喜びには敵いません。部員一同、助け合い、時にはぶつかり合いながら日々成長しています。

今年の紫祭では、パフォーマンス部門で見事一位を獲得した劇団H!これからもまだまだ成長していきます。思い出に残る大学生活を送りたい方、何か大きなことを成し遂げる経験がしたい方!私たちと一緒に舞台を作り上げていきませんか!?



平成25年度 各種研究助成報告

●後援会 外国出張助成

所属	氏名	職位	目的	出張先	出張期間
文学部	神山 伸弘	教授	学会	台湾	H25.9.11-9.18 (8日間)
文学部	内藤 敏修	教授	研究	イギリス	H25.8.14-8.24 (11日間)
文学部	池上 貞子	教授	研究	中国	H25.9.5-9.10 (6日間)
文学部	山口 豊一	教授	学会	ポルトガル	H25.7.15-7.22 (8日間)
文学部	阿部 一哉	助教	学会・研究	ドイツ	H26.3.3-3.11 (9日間)
マネジメント学部	崔 勝湜	教授	研究	韓国	H25.8.7-8.25 (19日間)

●特別研究助成

単位:千円

所属	氏名	職位	研究課題	採択額
文学部	石田 信一	教授	連邦解体後の旧ユーゴ諸国における歴史認識の変化	950
文学部	岩本 憲司	教授	鄭玄の春秋学	500
文学部	奈倉 哲三	教授	『戊辰戦争期江戸出来事・情報総覧(月日表)』作成のための、膨大な史料群(未刊原文書・貴重写本)の写真・複写、及び原史料収集〔前年度の継続〕	1,170
文学部	池上 貞子	教授	中英閨秀小説の比較考察——階級意識と伝統を中心に	1,220
文学部	山口 豊一	教授	大学生の学校適応に関する研究 — 学校適応感尺度QOL(大学生版)の作成を中心として —	500
マネジメント学部	塩月 亮子	教授	沖縄のエコツーリズムによる地域活性化に関する比較研究	930
マネジメント学部	丹野 忠晋	准教授	排他的取引理論と医療用医薬品業界の実態調査	730

●学術図書出版助成

単位:千円

所属	氏名	職位	出版物タイトル	助成費
マネジメント学部	内村 理奈	准教授	モードの身体史	2,000

●留学

所属	氏名	職位	留学する大学等	留学区分	留学期間
文学部	中野 敬子	教授	Department of Psychology, University of Nevada Reno	海外短期	2013/9/2~2014/3/1

●科学研究費助成事業

単位:千円

所属	氏名	職位	研究種目	研究課題	直接経費
文学部	山口 豊一	教授	基盤研究(C)	学校コミュニティでスクールカウンセラー等の心理職を活用するためのシステムの開発	800
文学部	酒井 佳永	准教授	基盤研究(C)	気分障害患者の家族を対象としたティラーメイド型支援プログラムの開発に関する研究	900
文学部	酒井 智宏	助教	基盤研究(C)	意味排除主義に基づく固有名と単称性に関する研究	1,100
文学部	阿部 一哉	助教	若手研究(B)	日独「句例」対訳データベースの構築	1,100
マネジメント学部	笠原 清志	教授	基盤研究(B)	バングラデシュにおけるマイクロクレジットと貧困の削減	3,700
マネジメント学部	山澤 成康	教授	基盤研究(C)	東日本大震災後の地域景気動向の把握—月次の都道府県別GDPの推計	900
マネジメント学部	丹野 忠晋	准教授	基盤研究(C)	医療用医薬品流通の経済分析	1,200
マネジメント学部	内村 理奈	准教授	基盤研究(C)	近世・近代フランスの服装規範にみられるジェンダー観	900
マネジメント学部	禿 あや美	准教授	若手研究(B)	小売業における職務分析・職務評価手法を用いたデータによる実現可能な均等待遇の検証	500
マネジメント学部	井口 衡	助教	若手研究(B)	サプライチェーンを通じた環境負荷削減行動に関する実証分析	1,000
マネジメント学部	山下 奨	助教	若手研究(B)	キャッシュフローの配分計算としての会計上の利益計算と企業結合会計における測定問題	640
兼任講師	鈴木 武生	兼任講師	研究成果公開 促進費	A cross-linguistic exploration into the semantics of English, Japanese and Mandarin resultatives	1,600

平成25年度 学内講演会

開催報告

全学共通科目運営センター主催 FD講演会

◆第1回◆

日 時 : 平成25年12月4日(水) 14:40~16:10
 場 所 : 新座キャンパス 新座図書館視聴覚ホール
 テーマ : 「グローバル人材育成教育について
 ~立教大学のケースを踏まえて~」
 報告者 : 白石 典義氏(立教大学副総長 経営学部国際経営学科 教授)
 笠原 清志氏(本学マネジメント学部マネジメント学科 教授)

◆第2回◆

日 時 : 平成26年2月12日(水) 13:00~14:30
 場 所 : 新座キャンパス 新座図書館視聴覚ホール
 テーマ : 「ボランティアなど『社会参加型授業』の可能性について
 ~慶應SFCにおける『問題発見・解決型人材』
 育成プログラムを中心に~」
 報告者 : 櫻田 周三氏(慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科 特任講師)

文学部 教育研究支援委員会主催

日 時 : 平成25年7月24日(水) 13:00~14:30
 場 所 : 新座キャンパス 2号館2282教室
 テーマ : 「ゼミ授業の展開について」
 講 師 : 田中 浩史氏(本学文学部コミュニケーション文化学科 教授)
 伊藤 穰氏(本学文学部現代文化表現学科 准教授)
 森 まり子氏(本学文学部人文学科 准教授)

大学院人文科学研究科 日本文化専攻主催 異文化交流フォーラム

◆第13回◆

日 時 : 平成25年9月14日(土) 15:00~17:00
 場 所 : 文京キャンパス 2号館M2301教室
 テーマ : 「外からみた日本文学
 -谷崎潤一郎を中心に-」
 講 師 : ミコワイ・メラノヴィッチ氏
 (ワルシャワ大学 教授)
 参加者 : 日本文化専攻担当教員、学部担当教員、
 大学院生、研究生、学部生、文京区民等
 ※文京アカデミー後援

◆第14回◆

日 時 : 平成25年11月30日(土) 14:00~17:00
 場 所 : 文京キャンパス 2号館M2301教室
 テーマ : 「イスラム文化(キルギス・エジプト)と
 イスラムから見た日本」
 講 師 : ウメトバエフ・カリマン氏
 (キルギス・東京芸術大学大学院博士課程)
 ハガワ・ラナ氏
 (エジプト・一橋大学大学院博士課程)
 参加者 : 日本文化専攻担当教員、学部担当教員、
 大学院生、学部生、修了生等

マネジメント学部主催 FDワークショップ

◆第1回◆

日 時 : 平成25年7月3日(水) 10:40~12:10
 場 所 : 新座キャンパス 新座図書館第2閲覧室
 テーマ : 「シラバスについて」
 報告者 : 塩月 亮子氏(本学マネジメント学部観光マネジメント学科 教授)
 丹野 忠晋氏(本学マネジメント学部マネジメント学科 准教授)
 奥田 喜道氏(本学マネジメント学部マネジメント学科 助教)
 参加者 : 24名

◆第2回◆

日 時 : 平成26年2月5日(水) 10:40~12:10
 場 所 : 新座キャンパス 3号館3156教室
 テーマ : 「シラバスについて」
 報告者 : 塩月 亮子氏(本学マネジメント学部観光マネジメント学科 教授)
 宮崎 正浩氏(本学マネジメント学部生活環境マネジメント学科 教授)
 村田 あが氏(本学マネジメント学部生活環境マネジメント学科 教授)
 参加者 : 19名

マネジメント学部主催 キャリアデザイン講演会

日 時 : ①平成25年10月22日(火) 18:20~20:00 ②平成25年10月24日(木) 18:20~20:00
 場 所 : ①新座キャンパス 花咲メモリアルホール ②文京キャンパス 2号館ブロッサムホール
 テーマ : 「自分らしい素敵な生き方を送るために」
 講 師 : 川邊 彌生氏(亜細亜商務教練有限公司 総経理 BCS認定プロフェッショナルビジネスコーチ)
 参加者 : ①420名 ②144名

図書館主催講演会

日 時 : 平成25年6月12日(水) 13:00~14:30
 場 所 : 新座キャンパス 新座図書館視聴覚ホール
 テーマ : 「大学図書館の課題と可能性 - 建築の視点を中心に」
 講 師 : 植松 貞夫氏(本学文学部人文学科 教授)
 参加者 : 本学教職員、お茶の水女子大学教員、お茶の水女子大学附属図書館職員

全学共通科目運営センター主催第一回FD講演会報告

2013年度全学共通科目運営センター主催第一回FD講演会は、本学マネジメント学科教授の笠原清志先生と、立教大学統括副総長で経営学部国際経営学科教授の白石典義先生をお招きし、「グローバル人材育成教育について～立教大学のケースを踏まえて～」をテーマに12月4日に新座キャンパス図書館視聴覚ホールで行われた。

講演は、はじめに笠原先生より「グローバル人材育成の今日的意味」について、自身が長年大学教育に携わってきた中で培った経験をお話いただいた。その中で、グローバル教育は各大学の建学精神・教育理念に基づき推進すべきであり、本学においても学祖跡見花蹊先生の教えのもと、「実践的な教養を備え、自律し、自立した女性を育成するための教育・研究」を実践していかなければならないとの提言がなされた。

次に白石先生より文科省の推し進めるグローバル人材育成に向け、近年の高等教育における国際化や教育改革の状況をご説明いただくと共に、立教大学における実践例をご紹介いただいた。その中で、先駆的なグローバル教育を実践する同大学においても、大変苦慮された点があったことをご紹介いただけたことは、今後の本学の教育にも生かされる内容であった。質疑応答においては、財政面からみるグローバル人材育成について、また海外インターンシップを行う際の単位認定制度についてなど、実情に関する積極的な意見交換が行われた。

現在本学におけるグローバル教育は、他大学のそれと比較し十分行われているとは言い切れないと感じている。今回の講演は、本学のグローバル教育の実情・問題点を再確認するとともに、今後本学が新しいステージに乗り出す起点となるものであった。本センター主催FD講演会では今後も継続的に全学的な新たな取り組み、教育方法の実践例の紹介をしていく。それらが多くの先生方にとって、より効果的な情報収集・意見交換の場になればと強く考えている。

全学共通科目運営センター長 石田 信一(文学部人文学科 教授)



平成25年度心理教育相談所関連事業

1 一般向け講習会(新座キャンパス)

- 7/9(火) 「さわやかな自己表現のためのトレーニング」
講師：宮崎圭子
- 7/20(土) 「こころを癒す～紙とクレヨンを使って～」
講師：松寄くみ子
- 9/21(土) 「老年期のこころの病気」 講師：宮岡佳子
- 9/28(土) 「不登校の子どもの理解と対応」
講師：野島一彦
- 10/5(土) 「明日(Tomorrow is another day)」
講師：片野智治

2 不登校を考える親の会

新座キャンパス = 第1・第3金曜日 10:00～12:00
文京分室ATOMIさくらルーム = 第2・第4木曜日 13:00～15:00
担当：野島一彦

3 シニアのコミュニティカフェ(文京分室ATOMIさくらルーム)

6/8(土)、6/22(土)、10/26(土)、11/16(土)、12/21(土)
5回開催。講師：宮岡佳子 宮崎圭子

お茶を飲みながら「シニア世代のこころの問題」や「対人関係のスキルアップ」「こころのリラックス」などをテーマにした講義を聴き、学生ボランティアと一緒に簡単なワークやおしゃべりを楽しむ会です。60歳以上の方対象。

4 子育てセミナー&語り場(文京分室ATOMIさくらルーム)

10/5(土)開催。講師：松寄くみ子

乳幼児の子育て中の保護者を対象に、「子どもの自立を促す子育て」「アレルギーの症状を軽くする工夫」などをテーマとしたミニレクチャーと自由な語り場です。

世界遺産検定団体優秀賞 受賞!

マネジメント学部観光マネジメント学科 准教授 村上 雅巳

昨年7月に行われた第13回世界遺産検定に本学学生130名が2、3級に挑戦し、118名が見事合格しました。これは、本学観光マネジメント学科が文京キャンパスの3、4年生を対象に世界遺産検定の受験を推奨し、NPO世界遺産アカデミーの講師による特別講義を開催して全学的に取り組んだ結果です。団体優秀賞とは全国で100名以上の団体受験で、最も高い合格率を得た団体が表彰されるものです。

9月には本学プロッサムホールで表彰式が行われ高い評価を得ました。秋学期には新座キャンパスで1、2年対象の特別講座が開催され、12月に68名が第14回世界遺産検定に挑戦し、43名が合格を勝ち取りました。

今年は富士山が世界文化遺産に登録され、観光業界、航空業界などで益々世界遺産検定が注目されるようになりましたので、今後も積極的な取り組みを推進していくつもりです。



～海外研修プログラムの拡充について～

本学では多くの学生に海外経験の場を提供するため、今年度から夏期海外語学研修に加え「春期海外語学研修」の実施を開始いたしました。初めての今年度は20名の学生が参加しています。研修先はイギリス・スコットランドの英国国立スターリング大学です。本研修の主な特長は、①7週間の研修期間(H26年2月11日～同年3月31日)で集中的に語学力のブラッシュアップを図ることができる、②多くの現地学生とコミュニケーションをとることができるという点です。長期休業(夏期や春期)を利用した語学研修の多くは「3週間～4週間」が相場の中、「7週間」という比較的長期間の研修はめずらしく語学力向上に期待が持てます。研修時期が日本の年度末(3月)ということもあり本研修による単位認定は行っておりませんが、長期休業を有効活用できる機会となっています。英国国立スターリング大学では夏期海外語学研修も実施しており、例年多くの学生が研修に参加しています。今年度はスターリング大学から副学長

Professor John Gardnerが来校し、相互の大学の取り組みや今後の教育連携について話し合われました。

また、次年度から新たな形式の海外研修プログラム実施を予定しています。語学学習と英語実践(インターンシップ)を組み合わせた夏期4週間のプログラムです。本研修は、カナダ・ビクトリアにあるロイヤルローズ大学と連携して実施するもので、所定の要件通り研修を修了した場合、本学での単位認定を行います。学部や学年に関わらず参加することができます。前半1週間は語学トレーニングを積み、後半3週間はインターンシップ先で英語を使って就労体験をします。語学研修から一步進み、英語を実社会で使うことを経験しグローバル社会で求められるコミュニケーション能力や積極性を培うことが期待されます。

このように今後も学生の海外経験の場を増やすよう各種プログラムの拡充を進めてまいります。

保護者説明会・後援会大学幹事会の報告

今年度も、保護者の方を対象とした「保護者説明会」を8月24日(土)高崎会場、8月25日(日)新潟会場、8月31日(土)宇都宮会場、9月1日(日)仙台会場、10月19日(土)文京会場にて開催し、5会場あわせて約460名の保護者の方にお越しいただきました。特に文京会場では、 Blossamホールが満席になるほどの盛況ぶりでした。本学の教育や進路支援の実施状況を学長・副学長・学部長をはじめ学部学科、各部局の教職員より説明をさせていただきました。全体説明会終了後に、「各学科内容・履修関係」「就職・進路」「学生生活(奨学金・クラブ活動等)」「国際交流」の各ブースで個別相談を行いました。日頃より、保護者の方が感じられていること、ご質問等たくさんいただきました。教職員が個別に説明や回答をすることで更にご理解を深めていただけたことと思います。次年度も保護者説明会を開

催する予定です。また多くの方にお越しいただければと思います。

11月23日(土)に文京キャンパスで開催された「後援会大学幹事会」には、後援会会長、副会長、常任幹事、大学幹事32名がご出席されました。大学からは学長、副学長、両学部長、学務部長、全学共通科目運営センター長、図書館長、入試部長、就職部長、事務局長が出席し、大学の現状や取り組みを紹介、報告をいたしました。大学幹事の方からはお子様の学生生活の様子や進路に関することなどを中心にお一人お一人にお話をいただき、終始和やかな雰囲気の中にも、充実した会となりました。当日は、オープンキャンパスも開催され、来場者、在学生で賑わう会場の雰囲気も直に感じていただけたのではないかと思います。

ザ!就職

平成25年度就職懇談会の総括と 今年度就職活動の行方

1. 平成25年度就職懇談会の総括

平成25年度就職懇談会は、例年どおり11月の第2火曜日に当たる12日に文京キャンパスにて行われ、通算で18回目となる。懇談会は、参加頂いた企業の方々、学生を中心に、学園・学内のご理解・ご支援のもとに、今年度も「学生が主役で参加する」方式で実施した。出席者は①企業114社・115名(昨年度105社・114名)、②学生71名(同75名)、③大学(法人を含む)20名(同18名)を数えた。一昨年度から3年生への就職活動の解禁日が、12月1日となっており、この忙しい時期に、多くの企業の方々に参加して頂いたことは、大変ありがたいと感謝している。

第一部のプログラムの後半においては、臨床心理学科の宮崎圭子准教授による「現代女子大生のキャリア観 女子大生は成功回避しているか?」の講演を行ない、企業の方々からは好評を頂いた。

第二部は、3年生と企業の採用担当の方々の懇談会である。「学生」が「自身の生の姿と言葉」を企業の人事担当者に直接伝える機会である。厳しい雇用環境の中で、3年生の懇談会への参加意欲は、例年に劣らず高かった。会場の許す範囲で最大限の人数の参加を認めたため、企業の方々との学生達とで懇談会は大いに盛り上がった。100社を超える企業のご参画を頂いて、3年生との熱意溢れる懇談会を開催できたことは、本学にとって極めて力強いエールとなっており、深く感謝したい。

2. 今年度の就職支援活動の概況

この就職懇談会に加えて、就職支援活動は従来の活動に、さらなる工夫・改善を加えて実施している。主な支援活動では、①ハローワークによる出前の就職支援サービス、②(キャリア)アカデミック・アドバイザーの協力による4年生の内定状況の情報収集、③3年生向けの企業研究会(説明会)は12月から開催、④就職内定者に就活支援グループ(ATOMI就職支援サポーターズ)活動、等を実施している。

また、今年度より①跡見に対する評価についての「企業アンケート」の実施、②2年生対象の「就活プレセミナー」開催など、新たな支援活動も開始している。就職課では今年度に2名(課長、主任)の外部人材が、新たに加わり、就職支援の活動の体制は充実した。

3. 平成25年度就職活動の行方

今春卒業予定の大学生の就職内定率は、昨年12月1日時点で前年同期比1.6ポイント増の76.6%(厚生労働、文部科学両省の調査)だった。改善は3年連続だが、リーマン・ショック前の07年調査に比べて5ポイント低い。先に挙げた新たな就職支援活動をフル稼働させて、限られた求人情報の活用、就活支援の効率的な展開を図りたい。そして、最後まで諦めずに就活を続ける学生の希望を叶えさせることが我々の使命と理解し、就職活動の支援を展開してまいりたい。

就職部長 大野 二郎(マネジメント学部生活環境マネジメント学科 教授)

ATOMI就活サポーターズ ~OGからのメッセージ~

ATOMI就活サポーターズでは企業で活躍するOGにも協力を呼びかけ、就職活動支援の輪を広げています。

今回は昨年11月8日に開催したOG懇談会にもご協力頂いた信用金庫勤務3年目のOGをご紹介します。

(2011年マネジメント学科卒)

信用金庫事務課所属 テラー(窓口)として勤務。

◆仕事◆

1年目は後方事務に所属し、事務の基本を覚えました。

2年目は出納業務にあたり、主に現金の管理をし、2年目の途中から現在3年目でテラーを任せられ一日に平均150人ほどの来店されるお客様と接しています。

◆今後の抱負◆

テラーとして更に接客サービスのレベルアップをし、私のファンを増やせるようになりたいです。あなただから任せられるとお客様から信頼されるようなテラーになっていきたいと思います。

◆OG懇談会に参加して◆

学生の皆さんがとても意識が高いことに驚きました。私自身このような機会は初めてだったので不安もあり

ましたが、頑張っている学生さんと接することで、逆にこちらが刺激をいただくことができ、より一層日々の業務にハリができました。

OG懇談会2013年11月8日(金)
15:00~17:00 文京キャンパス
2号館多目的ホールで開催。扇田
さんを含むOG10名、学生68名
が参加。会社や仕事について、い
ろいろなお話を伺いました。



◆母校(後輩)へのエール◆

就職活動は大変だと思いますが、自分とよく向き合っ
て、将来のことを考えられる良い機会です。そしてそれは必ず自分を成長させてくれるものだと思います。私自身、試練だと思ふことも多々ありましたが、「今」があるのはあの時の就職活動のおかげだと実感しています。悔いのない就職活動を行ってください。跡見卒業生として応援しています。

新学部「観光コミュニティ学部」設置構想

新学部設置委員会

本学では現在、文学部、マネジメント学部次に次ぐ第三の学部として、観光コミュニティ学部の設置(2015年4月)に向け準備を行っています。新設する観光コミュニティ学部は、観光デザイン学科、コミュニティデザイン学科の2学科で構成します。

観光コミュニティ学部は、観光とコミュニティに関する新しいデザインの学識や技能を備え、コミュニティの抱えるさまざまな課題を解決し、活性化に貢献できる人材の養成を目的とします。

観光デザイン学科は、観光に関する専門的な知識と実践的な技能を備え、コミュニティの歴史、文化、景観等に依拠した自律的観光を具体的に構想する観光デザイン能力を有する人材の養成を目的とします。コミュニティの風土、歴史、文化、自然環境への正しい理解と深い認識をもとに、(1)観光客を広く誘致し接遇するのに必要なホスピタリティ能力、(2)観光施設を持続可能な経営体として実践、運営

できるマネジメント能力、(3)観光コンテンツを発掘・研磨して広く紹介・誘致・宣伝する発掘発信能力の3つの能力を修得し、これらを統合して最終段階として観光分野で独自のビジネスモデルを着想し、起業も可能な高度な観光デザイン能力を身につけます。

コミュニティデザイン学科は、コミュニティデザインに関する広範な問題意識と実践的な知識を備え、コミュニティをデザインする能力を有して地域社会の担い手となる人材の養成を目的とします。具体的には、(1)コミュニティの問題の所在と本質を見抜く能力、(2)コミュニティの問題を解決に導くアイデアを創出・提言するデザイン能力、(3)コミュニティの人と人をつなぐコミュニケーションおよびファシリテーション能力、これらを統合する形で最終段階として、地域社会のさまざまな課題解決に寄与するコミュニティデザイン能力を身につけます。

第5回新収資料展

平成25年10月30日(水)から11月11日(月)まで、跡見学園女子大学新座図書館展示室において、「第5回百人一首・跡見花蹊関係新収資料展」が開催されました。

図書館では、「特別資料」として「百人一首」と「跡見花蹊関係」資料を特に力をいれて蒐集しています。新たに蒐集した資料をいち早く利用者の皆様にご覧いただくため半年に一度のペースで「新収資料」展示会を開催しております。第5回目の今回は平成25年度春学期に蒐集した資料を中心に、百人一首関係は17点、跡見花蹊関係は7点を展示いたしました。

特に今回の展示で注目されるのは、20歳台の跡見花蹊先生の書、跡見花蹊書幅「河海不擇細流」で、若さあふれる筆致はその後の花蹊先生とは違った魅力にあふれています。また、新収蔵の跡見玉枝画の内裏雑と並べて、所蔵資料から跡見花蹊画の内裏雑を参考展示いたしました。比較の妙を楽しんでいただけたものと思います。ちょうど紫祭の期間の展示だけに、多くの来場者の方々にご覧いただくことができました。

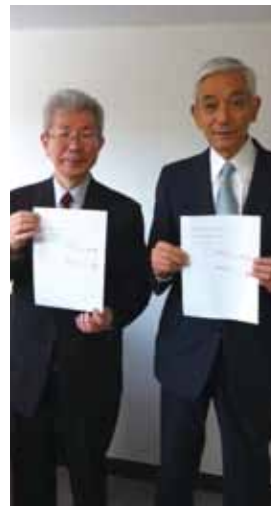


日本女子大との図書館相互利用協定締結

日本女子大学図書館と跡見学園女子大学図書館は、学生証や身分証を呈示するだけで、相互に図書館利用が可能となる相互利用協定を締結しました。サービス内容は「館内閲覧」と「文献複写」で、11月1日から開始しました。

協定発効後、さっそく日本女子大学から本学図書館を訪ねて見える利用者が多く、また本学からも図書館ボランティアが「日本女子大学図書館の魅力発見」というテーマで取材をさせていただきました。今後も、様々な形で交流を深めてまいりたいと考えております。

利用できるサービスについて、興味をお持ちの方は新座図書館もしくは茗荷谷図書館カウンターでお尋ねください。



左：調印式の写真
日本女子大学図書館長 島崎恒蔵
先生と本学図書館長 曾田修司先生

右：ボランティアによる
日本女子大学図書館取材

◆春の行事予定◆

3月	18日(火)	第46回学部卒業式・第8回大学院修了式
	19日(水)	謝恩会
	29日(土)	桜まつり(一般公開)・オープンキャンパス
4月	3日(木)	第50回入学式
	8日(火)	春学期通常授業開始

●履修申請●

●Web履修登録申請期間

- 1次 <2・3年生>4月8日(火)、9日(水)
<1・4年生>4月10日(木)、11日(金)
- 2次 <全学年>4月15日(火)、16日(水)

●履修登録状況(抽選結果)

発表 4月15日(火)、18日(金)

●履修登録訂正手続期間 4月18日(金)、19日(土)

新年度オリエンテーション予定

●学部 新1年生対象

4月 2日(水)	一人暮らしのガイダンス 学生寮オリエンテーション(入寮者のみ対象)
3日(木)	入学式・新入生説明会 (午前:文学部、午後:マネジメント学部)
4日(金)	<マネジメント学部のみ> 健康診断・進路ガイダンス・学生生活ガイダンス・学科ガイダンス・履修ガイダンス・個別面談
5日(土)	<文学部のみ> 健康診断・進路ガイダンス・学生生活ガイダンス・履修ガイダンス・学科ガイダンス・グループミーティング・資格課程ガイダンス <マネジメント学部のみ> ATOMIアカデミア(~4/6) <外国人留学生のみ> 外国人留学生オリエンテーション
7日(月)	<文学部のみ> 個別面談

●学部 新2年生対象

4月 4日(金)	<マネジメント学部のみ> 進路ガイダンス・学生生活ガイダンス・学部ガイダンス・学科ガイダンス・履修ガイダンス・個別面談・健康診断
5日(土)	<文学部のみ> 進路ガイダンス・学生生活ガイダンス・履修ガイダンス・学科ガイダンス・グループミーティング・個別面談・健康診断

●学部 新3年生対象

4月 2日(水)	<文学部のみ> 健康診断・進路ガイダンス・学生生活ガイダンス・履修ガイダンス・学科ガイダンス・グループミーティング・個別面談
3日(木)	<編入生のみ>(午前:文学部、午後:マネジメント学部) 入学式・編入生説明会・学科ガイダンス・単位認定のための面接
7日(月)	<マネジメント学部のみ> 健康診断・進路ガイダンス・学生生活ガイダンス・学部プログラム・学科ガイダンス・履修ガイダンス・個別面談

●学部 新4年生対象

4月 2日(水)	<文学部のみ> キャリアセミナー・学生生活ガイダンス・履修ガイダンス・学科ガイダンス・グループミーティング・個別面談・健康診断
7日(月)	<マネジメント学部のみ> キャリアセミナー・学生生活ガイダンス・学部プログラム・学科ガイダンス・履修ガイダンス・個別面談・健康診断

●大学院生対象

4月 3日(木)	<両研究科新1年生のみ(新座キャンパス)> 入学式・専攻説明会 (午前:人文科学研究科、午後:マネジメント研究科)
5日(土)	<人文科学研究科のみ(新座キャンパス)> 健康診断・履修ガイダンス・専攻ガイダンス
7日(月)	<マネジメント研究科のみ(文京キャンパス)> 健康診断・履修ガイダンス・専攻ガイダンス

花蹊記念資料館だより

収蔵品紹介 花蹊画「桜の下絵」



写真は花蹊画「桜の下絵」の一部である。和紙を何枚か継ぎ接ぎしたものに描かれており、軸仕立てになっている。下絵なので落款はない。法量は208×74という大きさだが、花と葉の筆致の繊細さをご覧いただきたい。幹から枝垂れた枝部分を拡大して紹介する。近く展示で改めて紹介したい。

(跡見花蹊記念資料館蔵)

桜まつり・オープンキャンパスのご案内

3月29日(土) 新座キャンパスにて開催

◆予約不要◆



◆桜まつり◆

【開催時間】

10:30~14:30



◆オープンキャンパス◆

【開催時間】

10:30~15:30

今年で9回目を迎える桜まつりでは、40種180本以上もの桜*をお楽しみいただけます。当日は、学生団体による模擬店や地元銘菓・野菜等の販売が行われる予定です。また、図書館や資料館の見学もできます。また、3月1日~5月15日は、桜を鑑賞していただけるよう、構内を一般開放しております。

受験生向けのオープンキャンパスでは、学食体験や模擬授業、本学学生によるキャンパスツアーなど楽しい企画をたくさんご用意しております。

皆さまお誘いあわせのうえ、お気軽にお越しください。
※時期により咲いていない桜もございますのでご了承ください。

●編集後記●

桜が美しく色づく季節となりました。今号では、キャンパス別に取り組みを紹介してみました。来年度も学生の活動を中心に、本学の実践活動についてわかりやすくお伝えしていきます。

《訂正》

第80号10頁「第4回百人一首・跡見花蹊新収蔵品展について」の5行目「かさねんじゆすい夏山烟樹図」を「かさねんじゆす夏山烟樹図」に訂正いたします。